

オンラインセミナー「テレワークでつなぎ止める優秀人材」開催

＜中小製造業におけるテレワーク実践例＞

総務省東海総合通信局(局長 長塩 義樹(ながしお よしき))は、令和3年10月14日に公益財団法人ソフトピアジャパン、岐阜県IoTコンソーシアム、東海情報通信懇談会及び岐阜県スマートワーク推進ネットワークとともに、オンラインセミナー「テレワークでつなぎ止める優秀人材」を開催し、自治体や中小企業などから58名が視聴しました。

はじめに、ダブルインフィニティコーディネート代表 齋藤 博美(さいとう ひろよし)氏から、「離職者をつなぎ止める・経験者をテレワークで「人材確保」と題して講演をいただきました。家ではスマホ(デジタル)を利用しているが、仕事は伝票(アナログ)処理という現状をとらえ、テレワークの導入は企業のデジタル化の推進であり、従業員のデジタルギャップを少なくすることが離職者をつなぎ止めることになり、ひいては人材確保策としても有効であるなど具体的な事象と併せて、テレワーク環境を整えば人材確保の選択肢が増えることなどをご説明いただきました。

続いて、中央工機株式会社代表取締役社長 加納 稔(かのう みのる)氏から、「製造業におけるテレワーク」と題して講演をいただきました。そこでは、出産、育児あるいは介護など、女性活躍社会の実現を容易にしない環境の改善方法としてテレワークが有効である事が説明されました。そして、出産を機に退職、移住した方をテレワーカーとして再雇用し、業務改善を達成した結果、生産性の向上、収益が増大した事例をご紹介いただきました。

セミナー後のアンケートでは、参加者からテレワークの導入事例について実際に知ること、テレワークのメリットを改めて認識でき、大変有意義であった、共感した、参考になった、もっと話しを聞きたいなどの感想が寄せられるなど、参加された皆様からセミナー全体を通じてご好評をいただきました。

お問合せ先:情報通信部情報通信連携推進課 052-971-9313



ダブルインフィニティコーディネート代表 齋藤講師



中央工機株式会社代表取締役社長 加納講師